



フットパスを楽しむマナー

- この素晴らしい風景を維持・管理されている地元の方々への感謝の気持ちを忘れないようにしましょう。
- 道から外れ、田畠や民家の敷地などに入らないようにしましょう。
- 自分のゴミは必ず持ち帰りましょう。
- 農作物・動植物などの採取はやめましょう。
- 地元の方々の作業や生活の邪魔をしないようにしましょう。
- ルートから外れた人気の無い山道には、クマが出没する恐れがありますので立ち入らないようにしましょう。

コースガイド

- 鬼無里ふるさと資料館からスタート。国道406号を長野市街方面に向かって進む。スタート前にお手洗いを済ませておこう。鬼無里ふるさと資料館で祭屋台を堪能するも、直売所「ちょっくら」や「そば処鬼無里」「いろは堂」に寄り道もOK。
- 和田ヒラへの立寄りルートでビューポイント(a)に。②を左折し、途中の分岐を右折して登坂を進む。途中はムグク、和田ヒラ、季節によって色々な花を楽しむ。途中足場があまり良くない場所があるのでトレッキングシューズが最適。③出口付近は勾配がきつい下り坂なので気をつけて歩こう。
- 和田ヒラからの出口を左折し、④の松巖寺方面へ。松巖寺までの間は、国道406号を歩くので車に注意。
- 基本ルートは古満寿屋旅館手前を左折する。④手前には松巖寺の山門がある。松巖寺には「紅葉の墓」「経蔵」など見所が多い。また、本堂の格天井の花鳥画は一見の価値があるので、見学の際はご躊躇なく一言、お声がけを。
- 手前の鬼無里中学校の東側には、長野吉田高校分校と中学校寄宿舎、北側には体育館があった。現在駐車場となっている中学校寄宿舎段落付近からは虫倉山と飯縄山(いいづな)を一望できる。
- 大龍寺跡からの眺望ビューポイント(b)と、基本ルートを少し進んだ先のビューポイント(c)の眺めがとても良い。大龍寺跡手前を右折する別ルートは、その昔、大龍寺の参道だった。下り始めは歩きにくいので足元に注意!
- ⑦を通り過ぎてすぐ、右脇の石畳の細いスロープを登ると弁天池がある。弁天池の厨子の裏には、天正5年(1577年)3月江之島辨天より御分靈とある。今は神社断層地震の影響で水が抜けてしまっているが、社と厨子から当時の姿が偲ばれる。



鬼無里の
町かど
コース

凡例

- 基本ルート
- 別ルート
- 立寄り
- 駐車場
- トイレ
- バス停
- ビューポイント
- 危険箇所(クマ出没、崖、行き止まりなど)

A～E 歴史・文化スポット

※ 詳細は表面「歴史・文化スポット」欄をご覧ください。

歩行距離 全体／約4.3km — ①～⑯→① 所要時間(目安)90分

